

2 『暮らし』

指標：人々が海辺に親しむことのできる海岸の延長【約6,700km(H14) 約6,780km(H16) 約6,800km(H19)】

事業費約46億円(対前年度比0.90) 国費約26億円(対前年度比0.90)

ユニバーサルデザインによる快適な海辺の実現

ユニバーサルデザインの考えを取り入れ、地域の教育・福祉行政等とも連携しつつ、訪れる全ての人々が利用しやすい海岸づくりを推進する。

利用しやすく、海辺へのアクセスがしやすいユニバーサルデザインに配慮した海岸づくり



浦港海岸(兵庫県)

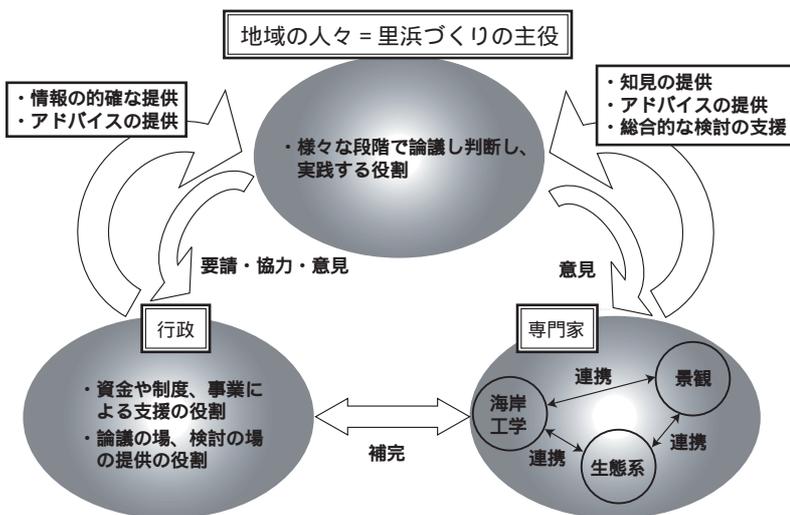


有川港海岸(長崎県)

地域住民、NPO等と連携した住民参加型の海辺づくり

地域住民やNPO等との連携強化により、地域の自然環境や地域固有の歴史を生かした海辺と人々のつながりの密接化を促進し、かつての多様で豊かな海辺と人々のつながりを現代の暮らしに叶う形で蘇らせる「里浜づくり」を推進する。

里浜づくりにおける協働作業のイメージ



地域の人々、行政、専門家の協働(パートナーシップ)により、人と海辺の関わりを深め、それぞれの地域の特性を活かした「海辺の文化」を創造することが必要である。

地元住民との連携事例(海岸清掃)



敦賀港海岸(福井県)

NPO等との連携事例(子ども体験型環境学習)

